

令和7年度版 総合計画の進行管理及び課題管理シート（令和6年度の振り返りと令和8年度の取組検討）

施策No	721		
施策名	国際交流・地域連携の推進		施策の目的
関係課	広報ブランド推進課、政策調整課、市民生活課、学校教育課		<div>● 慣習や文化が違う人がお互いを理解し、多様な価値観を認め合い交流します。</div> <div>● 自治体や企業との連携を推進し、事業の充実を図ります。</div> <div>● 大学や短大などの高等教育機関との連携を推進し、事業の充実を図ります。</div>

1. 進行管理
（1）指標の実績・考察と目標年度（令和7年度）の目標値達成見込み

	指標	単位	実績基準値	実績値					見込値	目標値	最終年度（R7）の 目標値達成見込	R 6 年度の実績説明・考察 及びR7目標値達成見込判断の理由
			R2	R3	R4	R5	R6	R7	R7	R7		
a	外国人と交流している市民の割合	%	10.2	8.2	10.7	11.1	9.9	13.5	13.5	13.5	③新たな取り組み等により目標達成の可能性あり	市内外国人登録者数の増加に伴う外国人と地域住民の共生の機運が高まりつつある。国際化推進戦略会議が令和6年度に設置され、本市の国際化に向けた取組が推進される。
b	連携している自治体、企業数	団体	126	—	143	160	調査中	165	130	130	①既に目標値達成済み	包括連携協定締結の要綱を制定し、本市との連携に積極的な企業との連携が促進される。
c	連携している大学・短大数	団体	5	—	7	8	8	9	7	7	①既に目標値達成済み	講師派遣を目的とした連携が多い。ただし、連携数の増については頭打ち状態となっている。
d												

（2）構成する事務事業の昨年度（令和6年度）の取組結果 ※効果が上がった、下がったの判定は、事業効果を説明する指標のR 5との比較となります。

① 施策関連区分A（実施計画事業）

【効果が上がった事業】							事業費（単位：千円）			効果説明
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
2	高校生プロジェクト推進事業	佐野市に住み続けたい若年層割合	%	57.6	63.2	64.8	304	314	271	参加者の愛着度は高い値を示しているが、全体に波及するほどではない。

【効果が下がった事業】							事業費（単位：千円）			効果説明
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
7	国際戦略推進事業	外国人と交流する市民の割合	%	10.7	11.1	9.9	0	0	115	第1回戦略会議において、有識者による講演をいただいたことにより、委員及び市職員の国際化への機運の醸成を図ることができた。
		策定した戦略数	本			0				

② 施策関連区分B（実施計画事業以外）

【効果が上がった事業】							事業費（単位：千円）			効果説明
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	

【効果が下がった事業】							事業費（単位：千円）			効果説明
No	事業名	事業効果を説明する指標	単位	R4	R5	R6	R4	R5	R6	
1	国際交流協会支援事業	外国人と交流する市民の割合	%	10.7	11.1	9.9	5,632	6,314	8,742	協会の活動は、新事業の実施などにより以前より活発化している。
5	両毛広域都市圏総合整備推進協議会 参画事業	圏域内の人口（各年10.1現在）	人	807,917	802,036	796,930	166	166	166	行政各分野における都市間の広域連携を図り、事業の充実を図る。
6	両毛地域東武鉄道沿線活性化協議会 参画事業	域内の路線の乗降り人員数	人	22,572,440	23,881,639	18,179,085	80	80	80	両毛地域と東武鉄道株式会社が、相互に協調・連携して、両毛地域の活性化の推進を図る。

（3）基本方針の取組状況

① 特に実績をあげている取組（計画初年度(令和4年度)以降の取組状況）

本市が支援する国際交流協会が行う事業や活動が活性化している。特に、外国人登録者数の増加に伴う日本語教室の申込者数が増え、講師が不足する状況となっている。

大学等との連携について、現在 8 大学と連携し、本市の地域課題解決につながる提案が得られている。

（宇都宮大学、東京大学、東京農工大学、足利大学、白鷗大学、立教大学、実践女子大学、佐野日本大学短期大学）

② 未着手等計画通りではない取組（及び今後の対応）

姉妹都市として提携しているアメリカ合衆国ペンシルベニア州のランカスター市との中学生交流事業は、新型コロナウイルス感染症拡大以降、行われていない。姉妹都市としての提携は今後も継続し、中学生交流以外の分野での交流について検討する。

（4）令和6年度行政経営方針の取組状況

① 令和6年度行政経営方針

・クリケットを通じた大使館交流や経済交流について、国際感覚を高める機会と捉え、サポーター活動や通訳・翻訳ボランティア活動などにより外国人との相互交流を推進し、国際交流に貢献できる取組を実施する。

・国際交流活動の活性化を図るため、国際交流協会との連携を強化し、協会が実施する国際交流フェスティバルや各種講座などの事業を支援する。

・外国人が安心して生活できる環境を整備するため、市政情報等を多言語で発信するとともに、外国人キーパーソンネットワークの構築に向けた取組を支援する。

・共通の課題解決を図るため、自治体及び企業、大学等の新たな提携先との包括連携協定の締結に向けて、各部署と調整し検討を進める。

・地域課題の解決や地域の活性化を図るため、高校生プロジェクト等を通じて若者の視点を取り入れた共同事業を推進する。

② 令和6年度行政経営方針の取組状況

・クリケットの国際大会時に国際交流協会から通訳を派遣するなど、日本クリケット協会との連携を深めるとともに、国際交流の拡大につながった。

・国際交流フェスティバルをはじめとした国際交流協会主催事業への支援を行った。また、毎月行う協会の企画委員会に担当職員が出席し、協会との情報共有を図っている。

・外国人が安心して生活できる取組として、市のホームページの多言語化や災害時の外国人対応に関する国際交流協会との情報交換を行った。

・包括連携協定締結について、関係課と連携し 1 社と締結した。また、企業や団体と効果的な連携が持続できる体制を整えるため、包括連携協定の締結に関する要綱を策定した。

・高校生プロジェクトにおいて、高校生が自主的に 3 グループでの活動を実践している。

2. 課題と次年度（令和8年度）の取組

（1）課題<環境変化や関係者の意見、要望等を踏まえて>

【令和7年度以降にも引き継がれる課題】

① 高校や大学との連携取組の充実

② 国際交流活動の活性化

③ 外国人と地域住民が安心して生活できる環境の整備と共生社会の構築

④ 外国人とのコミュニケーション（特に言語面）のサポート

⑤ 連携協定等の有効活用（事業者から提案された取組の実現）

⑥ 姉妹都市ランカスター市との姉妹都市交流の継続

（2）課題に対する今年度（令和7年度）内の取組状況、予定

① 高校・大学等との実践的活動の充実を図る。

② 国際交流協会の活動をサポートし、外国人交流事業等の充実を図る。

③ 国際化推進戦略会議による佐野市国際戦略の策定

④ 日本語教室の需要過多に対する対応策の検討、県国際交流協会と連携したやさしい日本語教室の開催

⑤ 包括連携協定の締結に関する手続きを要綱化したことで、協定を締結した事業者等の取組の進捗を把握できるようにする。

⑥ 姉妹都市ランカスター市の経済や文化に関わる行政担当者や関係者と今後の交流等について協議を行う。

（3）次年度（令和8年度）の取組（案）

① 高校・大学等が行う調査・研究などの活動の場として本市を活用してもらえよう働きかけ、連携・協働の取組につなげる。

② 国際交流協会の活動がさらに活性化するようサポートを行う。

③ 佐野市国際戦略の具現化に向けた取組の実践と検討

④ 市及び県の国際交流協会等による日本語教室、やさしい日本語講座等の支援

⑤ 包括連携協定に関する情報をホームページに掲載し、企業等と連携した取組の周知を行う。

⑥ 姉妹都市ランカスター市との協議を受け、今後の交流について検討を行う。